

はりまいのちの電話とは

はりまいのちの電話は1988年に開局し、様々な悩みや心の危機に直面しながらも身近に相談できる相手もなく、孤独の中にいる人たちの相談を365日受け続けています。また阪神淡路大震災や東日本大震災の際には、フリーダイヤル・震災ダイヤルに参画し突然の喪失体験による抱えきれない悲しみを持つ人たちのところに寄り添ってきました。

相談員の活動は無給ボランティアで電話相談だけでなく組織の運営にも関わっています。相談員は養成講座を受講し認定された後も定期的な研修を重ね良き聴き手としての感性を磨き続けています。

電話の向こうの人とつながる活動を通じて、あなたの足あとをはりまいのちの電話に残しませんか？

【第41期電話相談員養成講座 基礎養成コース前期・カリキュラム】

(午後3:00~5:00)

2023年	内 容	講 師
4月8日(土)	14:30~開講式・オリエンテーション 15:00~いのちの電話の理念 ボランティアー共に生きるー	事務局 石井 要子 (はりまいのちの電話研修委員 公認心理師)
4月15日(土)	現代のストレス社会を考える	山本 英雄 (播磨大塩病院 院長 精神科医)
5月13日(土)	カウンセリング①	吉田 啓子 (公認心理師・臨床心理士)
5月27日(土)	精神疾患について	山下 俊幸 (京都府立洛南病院 名誉院長 精神科医)
6月10日(土)	LGBTQについて	徳永 桂子 (思春期保健相談士)
6月17日(土)	発達障害について	山下 俊幸 (京都府立洛南病院 名誉院長 精神科医)
6月24日(土)	認知症と介護・福祉サービスについて	小柳 俊子 (株式会社 CAPA communication 取締役 公認心理師)
7月8日(土)	青少年の自殺について	原田 久仁美 (兵庫医科大学 保健管理センター 公認心理師)
7月15日(土)	DVと子どもへの影響	徳永 桂子 (NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ)
7月29日(土)	依存症について	山下 俊幸 (京都府立洛南病院 名誉院長 精神科医)
8月5日(土)	ひきこもりなど現代の心の病について	阪田 憲二郎 (神戸学院大学教授 神戸いのちの電話研修委員 臨床心理士)
8月19日(土)	カウンセリング② 前期終了式 ※後期申込み切	井上 光一 (姫路獨協大学教授 臨床心理士) 研修委員

【申込み先】〒670-0012 姫路市本町68 社会福祉法人 はりまいのちの電話 事務局

TEL:079-288-5099 FAX:079-263-7210 (月~土 13:30~18:30 日・祝除く)

e-mail:jimukyoku@harima-inochi.jp

相談員の声

聴くことの大切さと難しさを実感しています。

初めは不安な気持ちが強かったけれど、今は一緒に悩んだり、考える仲間ができました。

いつも「聴かせていただく」という気持ちを忘れないようにしています。

いのちの電話は特別な資格は何もありません。電話をかけてこられた方に対して、優しく寄り添い、話を聴かせていただいて、共感してあげられることが求められています。私たちと一緒に寄り添っていただけますか。

お話を聴くなかで、自分と向き合うことができました。

お電話は自殺予防だけではなくありません。お電話を受けて感じるの、みなさんいろいろな人生を一生懸命生きているけれど、上手くいかないことが多くて、そんな時に誰かに話を聴いてほしくてかけてもらえるんだということです。ただ、そこにいることだと思います。